

科目名	専門特殊講義 I (知財戦略論)
	著作権制度
教員名	杉山 務

【授業の内容】

著作権の保護のあり方、保護される著作物の利用の仕方を検討し、文化の発展への寄与を目的とする著作権法の役割を考え、無形の財産権の保護がいかになされているか、またいかにあるべきかを検討します。

【到達目標】

著作物の利用について考え、法律に明確に規定されていない具体的事例に遭遇した場合に、自分の考えを表明し、論理的に説明できるようになります。

【授業計画】

第1回	オリエンテーション：授業の進め方、評価
第2回	著作権法概観：著作権法全体の概要を著作隣接権も含め検討
第3回	著作物の種類：思想又は感情を創作的に表現したもの
第4回	著作物の例：言語、音楽、舞踊又は無言劇、美術
第5回	著作物の例2：建築、地図又は学術的な図面、図表その他の図形 映画、写真、プログラム、ゲームソフト
第6回	二次的著作物：保護の条件を法文と具体例から検討
第7回	編集著作物、データベースの著作物 <小テスト> (著作物について)
第8回	著作者：共同著作、職務上の著作、映画の著作について検討
第9回	著作者人格権：公表権、氏名表示権、同一性保持権について検討
第10回	著作権の効力：内容とその効力の及ぶ範囲を検討
第11回	権利の目的とならない著作物、保護期間、権利の消滅、フェアユース
第12回	権利の制限：私的使用など権利者に無断で著作物を使用できる場合を検討
第13回	権利の活用：権利の譲渡、利用許諾と出版権設定、担保権設定、裁定
第14回	著作隣接権：実演家、レコード制作者、放送事業者、有線放送事業者 <小テスト2>
第15回	著作権侵害：損害賠償請求、差止請求

【授業の進め方】

講義中心であり質問を交えながら授業は進みます。

【教科書(必ず購入すべきもの)】

教科書は使用せず、スライドウエアの使用と適宜レジュメを配布し利用します。

【参考図書】

- ・著作権法入門〈2013-2014〉文化庁 著作権情報センター ¥2,300
- ・「著作権法概説第15版」半田正夫著(2013/2)法学書院 ¥3,990

【成績評価の方法】

①具体的な評価方法

発言による貢献、小テスト及び判決紹介を含む報告書並びに定期試験

②評価方法の比率

発言等貢献 (10%)、小テスト (10%)、報告書 (30%)、定期試験 (50%)

【「成績評価の方法」に関する注意点】

報告書は理解度の確認に使用しますので、提出は必須です。

【履修上の心得】

著作権法は、ネット社会の浸透を背景に、新たに発生する知見と社会の変化に相応しいものとするため、ほぼ毎年改正が行われ、学問的にも実務的にも変化の激しい分野ですから、履修には自分で学び他者に学ぶ心構えが重要です。

【科目のレベル、前提科目など】

前提科目はありません。種々の事物や事柄に対する知識欲が、非常に有益でしょう。

【備考】

知的財産制度が実社会でいかに利用されているか、活用されているかを、受け身でなく主体的に探求することにより、卒業後の社会生活において知的財産を専門とするか否かに係らず役立つ講座です。